

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	17人				

1. 使用状況

寄贈物品名	縮太鼓
使用学年及び人数	高等部全学年(17人)
使用頻度	5月～10月までの間(音楽の授業 毎時間、体育祭舞台発表)
使用状況	<p>音楽の授業「和太鼓を演奏しよう」で使用した。大太鼓と合わせ、隣接する高等学校と共同開催している体育祭の舞台発表で「伊豆松崎牛原太鼓」を演奏した。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>昨年度までは松崎町で太鼓を借りて授業で使用していたが、運搬が大変であり、古くなったため傷みが出て使いにくい太鼓もあった。本年度は、寄贈していただき、学校保管でいつでも使うことのできる環境に加え、新しい太鼓になったことでより良い音で演奏を行うことができ、活動に対する生徒の意欲も増した。地域おこし協力隊の方に指導していただくなど「伊豆松崎牛原太鼓」の演奏技術をより高めることができた。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後も、町の方の協力を得ながら演奏に取り組み、創意工夫しながら技術を磨いていくことで、和太鼓の楽しさを感じられるような学習をしていきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>生徒数が減っている中、少人数でも編制できる太鼓の演奏は、本校に適した教材であると感じる。また、太鼓を通して地域の方との交流も生まれ、生徒にとってとても良い学習の場になっている。</p>

2. 活用の様子



体育祭の舞台上で「伊豆松崎牛原太鼓」の発表をしました。締太鼓が刻むリズムに合わせ、全員で気持ちを一つにして演奏をすることができました。

たいいくさい ほっぴょう
体育祭での発表はどうでしたか？

☆がんばったところやよかったところを書きましょう。
☆感想を書きましょう。

和太鼓えんそうはそろえて
上手にできました。
とくに 1曲目をがんばりまし
た。

たいいくさい ほっぴょう
体育祭での発表はどうでしたか？

☆がんばったところやよかったところを書きましょう。
☆感想を書きましょう。

リズムが少し速くても、それでもついて
いきたがう。腕をし、かりのけしたり、
テンポが少し遅くな、たりした所はある
けど、リズムもじ、かり、そろえて、最後まで
良く頑張、たと思、いました。

体育祭後の振り返りでは、多くの方に演奏を聴いていただくことができた達成感や、上手に演奏できた満足感が多く書かれていました。